

2023年度 清水学院高等専修学校
自己点検及び学校関係者評価委員会 報告書

評価：適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

重点目標

- ① 健全な青少年を育成する。
- ② 一人ひとりを大切にする教育体制を構築する。
- ③ 入学を志願する生徒数を増加させる。

1. 教育理念・目標

| 評価項目 | 自己評価 | 改善のための方策 | 関係者評価 | 学校関係者評価委員の意見 |
|----------------------------|------|---|-------|--|
| 教育理念並びに教育目標が明確に示されているか | 3 | | 3 | ・近年、子どもの成長に求める価値観に変化があるように感じられる。教育理念の在り方についても改めて確認し開拓していくことも検討する必要がある。 |
| 教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか | 4 | | 4 | |
| 教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか | 3 | | 3 | |
| 教育理念並びに教育目標が教職員・生徒に浸透しているか | 3 | 非常勤講師へも計画的に理念等について打ち合わせる時間をつくり、常に目的共有をすることを重要視する。 | 3 | |

2. 教育活動

| 評価項目 | 自己評価 | 改善のための方策 | 関係者評価 | 学校関係者評価委員の意見 |
|------------------------------|------|---|-------|--|
| カリキュラムは教育目標が反映されているか | 3 | | 3 | <p>・検定試験については難易度が上がるにつれて読解力が必要になってくる。</p> <p>資格の特性に特化した学習に限らず、基礎的な読解力を身につけることなども資格取得につながることに着目して、学習計画を立てていくことも検討してもよいのではないか。</p> |
| 定期的なカリキュラムの見直しがなされているか | 4 | | 4 | |
| テキストや教材は適切なものを選定しているか | 3 | 新学習指導要領と本校でおこなう学習方針とのバランスを考え、オリジナル教材の手直しを行うことが必要。 | 3 | |
| 授業の点検・評価が適切に実施されているか | 2 | 事前に科目ごとの要点をおさえ、定期的な点検項目を明確にしておく。 | 2 | |
| 資格試験の合格率は | 3 | | 3 | |
| 資格試験不合格者の対策は | 3 | 不合格者が出た場合の対応方法を事前に計画立てておくことで、継続的な学習が実施できるようにする。 | 3 | |
| 評価は適切な方法で行われているか | 3 | | 3 | |
| 目標に到達しない生徒に対し適切なフォローがなされているか | 3 | 短期的、長期的な目標設定に応じるフォローを計画的かつ継続的におこなう環境を構築する。 | 3 | |
| 進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか | 4 | | 4 | |

3. 生徒受入

| 評価項目 | 自己評価 | 改善のための方策 | 関係者評価 | 学校関係者評価委員の意見 |
|-----------------------------------|------|--|-------|---|
| 生徒募集のための資料の表現・内容並びに募集活動の方法・時期は適切か | 3 | 中学二年生の段階で積極的に進路活動をおこなう家庭を対象とした募集活動を要検討。 | 3 | <p>・世の中で専修学校はきちんとしたスタイルであるという認識がある反面、広域通信制やサポート校の柔軟さ負担の無さが合うと考える子どもも一定数いるのでは。</p> <p>社会での価値観の変化や多様性をに目を向けることの必要性がある反面、学校としての普遍性の重要性ももちながらバランスをとることが大切だと感じる。</p> |
| 入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか | 3 | | 3 | |
| 募集要項の内容は適切か | 3 | | 3 | |
| 学校見学会の時期、内容は適切か | 3 | 中学生の進路活動が個別化、早期化している現状を踏まえ、見学会の対象学年や時期などを改めて検討する必要がある。 | 3 | |
| 入学者選抜の時期、方針、方法は適切か | 3 | | 3 | |
| 志願者状況、定員充足率はどうか | 2 | 見学者の入学率は一定数の成果が出ているため、見学者数を増加するための広報方法を熟考する必要がある。 | 2 | |
| 中途退学の理由・実状を適切に把握しているか | 3 | 中学二年生の段階で積極的に進路活動をおこなう家庭を対象とした募集活動を要検討。 | 3 | |

4. 教職員組織

| 評価項目 | 自己評価 | 改善のための方策 | 関係者評価 | 学校関係者評価委員の意見 |
|------------------------------|------|---|-------|--------------|
| 専任教員は設置基準を満たしているか | 4 | | 4 | ・とくになし。 |
| 専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か | 3 | | 3 | |
| 教職員の業務分掌は明確になっているか | 3 | 業務項目の細分化により明確さはあるが、担当を含め教職員が校務を把握しやすくするための継続的な点検等を必要とするように考える。 | 3 | |
| 教職員の能力、業務内容の評価を定期的に行っているか | 3 | | 3 | |
| 教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか | 3 | | 3 | |
| 職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか | 2 | サークル活動や学校行事などの特別活動に注力するうえで講師を活用することで、業務負担の軽減と活動の質向上に努めることも検討する。 | 2 | |

5. 施設・設備等

| 評価項目 | 自己評価 | 改善のための方策 | 関係者評価 | 学校関係者評価委員の意見 |
|-------------------------|------|------------------------------|-------|--|
| 教室は学習を行うのに十分な面積を有しているか | 4 | | 4 | <p>・自己評価として「3」が多いことに対する理由、「4」をつけることができないと考えている理由はないか？</p> <p>→（学校より回答） 現状小規模な環境の中で、設備投資や整理をしながら運営をしている。しかし、より生徒の活動の幅を広げると考えると、小規模ながらも今以上に効果的な施設の使い方があるのではないかと考えている。そのため、現状では最高評価をつけられる状態にないと考えた。</p> |
| 実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか | 4 | | 4 | |
| 実習設備は整備されているか | 3 | | 3 | |
| 教室・実習室の管理は適切に行われているか | 3 | 定期的な機器の点検を実施。破損状況を随時確認していく。 | 3 | |
| 生徒が自学自習できる教室を有しているか | 3 | | 3 | |
| 保健室は適切に整備されているか | 3 | 不要な物の破棄するなどして雑多な保管状況を解消していく。 | 3 | |
| 教育用機器備品は整備されており活用されているか | 3 | | 3 | |
| 職員室の管理は適切に行われているか | 3 | | 3 | |
| 事務室の管理は適切に行われているか | 3 | | 3 | |

6. 生徒生活支援

| 評価項目 | 自己評価 | 改善のための方策 | 関係者評価 | 学校関係者評価委員の意見 |
|-------------------------------|------|----------------------------------|-------|--------------|
| 生徒と相談する体制が整備・機能しているか | 4 | | 4 | ・とくになし。 |
| 各学校行事について、適切な事後反省を行っているか | 4 | | 4 | |
| 防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か | 3 | 想定や意図を複数準備することで訓練内容に幅を持たせることが肝要。 | 3 | |
| 進路活動に関する支援が整備され、機能しているか | 3 | | 3 | |

7. 管理・運営

| 評価項目 | 自己評価 | 改善のための方策 | 関係者評価 | 学校関係者評価委員の意見 |
|--------------------------------|------|----------|-------|---|
| 消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか | 4 | | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・世の中の動きに目を向けると、セクシャルハラスメント以外のハラスメントについても、学校という意識をすることが大切。 →今後自己評価の段階でも、広義的にハラスメントについて考えていくことを検討していく。 |
| 個人情報保護法を遵守しているか | 4 | | 4 | |
| セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか | 4 | | 4 | |

以上、本校の教育研究活動等の学校関係者委員会の意見として報告します。